

JAPAN CANCER SURVIVORS DAY 2024

参加者感想アンケート結果

2024/7/5作成

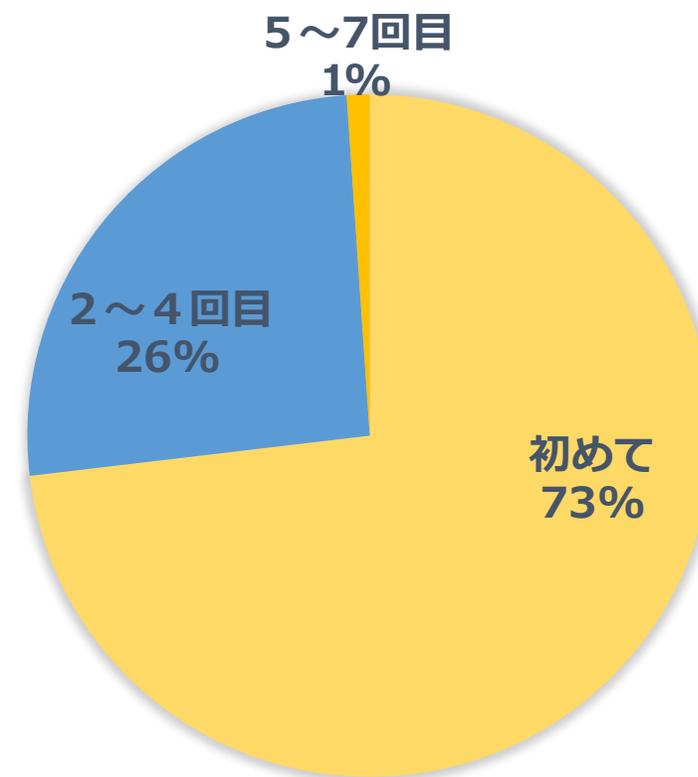
対象イベント 開催日時	2024/6/2 (日) 国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟 11:00~15:00
アンケート期間・方法	2024/6/2 (日) ~2024/6/10 (月) インターネット・当日用紙にて
イベント参加者	376名
アンケート回答者数	93名

※いただいた感想は、個人が特定できない状態で誤字含めできるだけ原文で載せています。

【1】 ジャパンキャンサーサバイバースデイ（以下JCSD）のご参加は何回目ですか？

項目	JCSD参加回数	%
初めて	68	73%
2～4回目	24	26%
5～7回目	1	1%

N=93

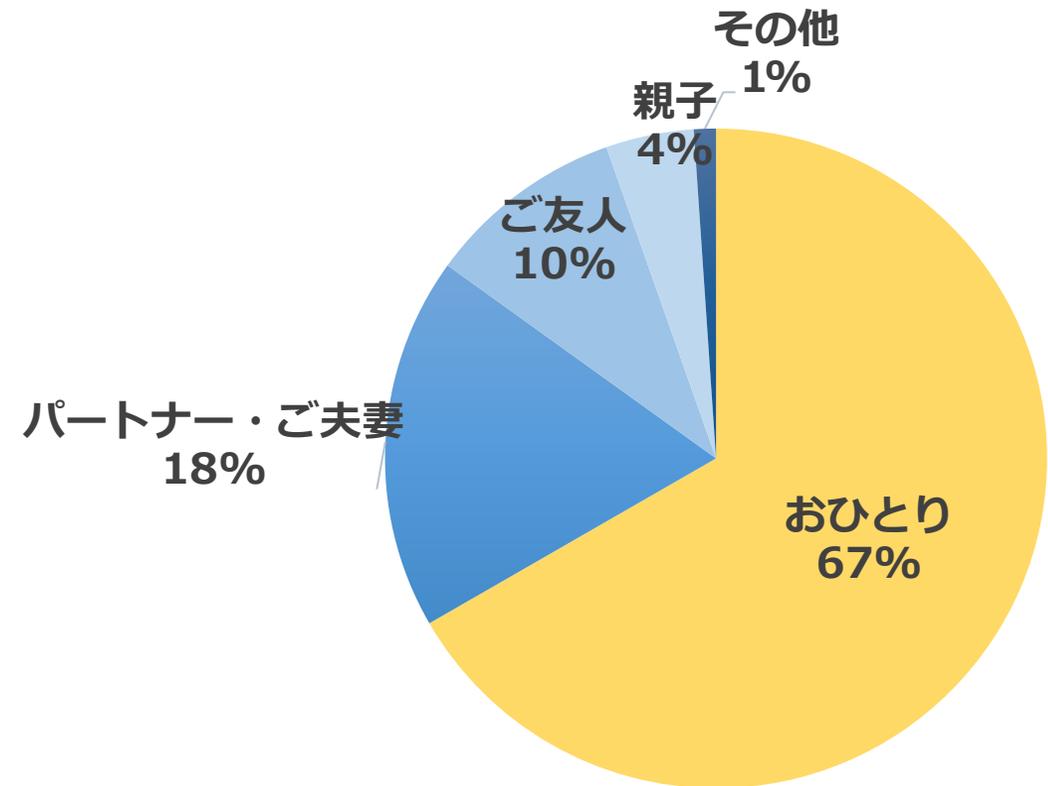


7年目（7回目）の開催ですが、初めて来られる方が7割でした。

【2】 どなたといらっしゃいましたか？

N=93

項目	人数	%
おひとり	62	67%
パートナー・ご夫妻	17	18%
ご友人	9	10%
親子	4	4%
その他	1	0%



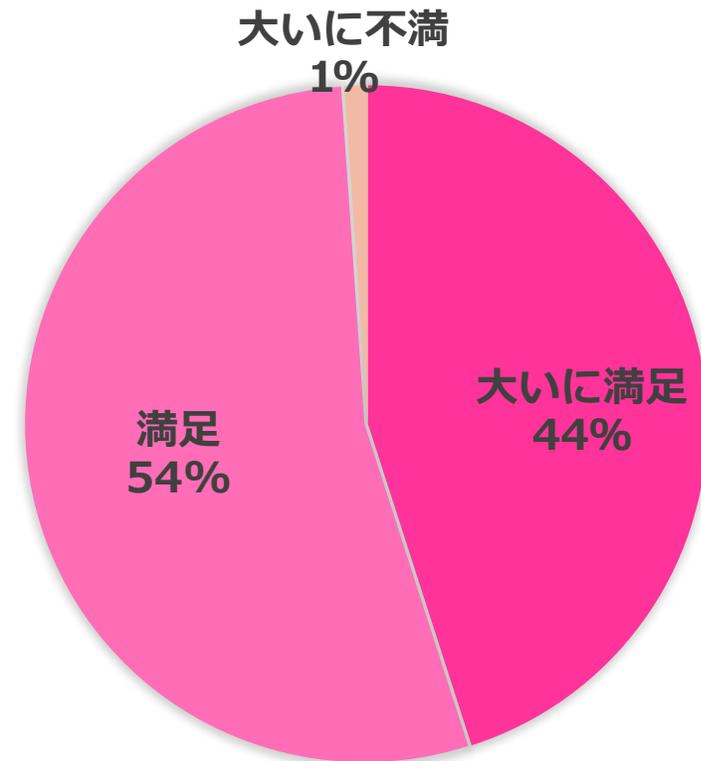
おひとり様でのご参加が約7割でした。
また、パートナーやご友人など複数名で参加される方も3割いらっしゃいました。

【3】 イベント全体の満足度

N=93

イベント全体の満足度	人数	%
大いに満足	41	44%
満足	49	53%
大いに不満	1	1%

※「大いに不満」・・・他項目で不満にあたる回答コメントなし。選択ミスと思われます。



ほぼ100%の方が満足と回答しました。

【3-2】 満足の原因

大いに満足(1)

コロナ禍中にがんになった為 直接公演を聴いたり、関係ブースの方々と話をするのも今回が初めてで、**とても有意義**でした

とても参考になるお話を聞いた

リアル開催で、会場にて**仲間の人たちに会えた**ため

ある程度聞きたいことが聞けた為・同じ病気の方々とコミュニケーションがとれ話を聞けたから

新たな情報を得られたから。

様々な団体があり、取組みもいろいろあるのがわかった

メイン会場の講演、企業団体ブースの出展内容、個人面談コーナー、展示物などバラエティに富んでいてさまざま**な情報**を得ることのできるイベントだから

専門的な事で、患者に寄り添う話だった。

貴重なお話がたくさんきけたため

ひとりで前向きになれない時がありましたが少し元気になりました。

色々なジャンルのお話が聞けました。

講演の内容が充実していた

【3-2】 満足の原因

大いに満足(2)

ステージ4の診断を受け、改めて治療の選択、病気と生活についての考え方等、いろいろと悩んだり決めたりしなければいけない時に、欲しかった情報・気づきを得られたため。

セミナーが大変役に立ちました。ブースもなつかしい顔がいっぱいで楽しめました。

時間的にゆとりあるスケジュールでした。講演をじっくりきけること。昼食時間がたっぷりあったことなど、よかったです。

がん患者の会で自分と同じ希少がんの方にお会いできた

患者が孤独にならないサービスがたくさんあることを知りました。

知りたいことがわかった。

新しいがんになり、知っているメンバーや不安になった時の仲間にも再会できたこと。

情報を得ました。下着が買えて良かった！

告知を受けてから、**先が見えないことが一番不安でしたが、ブースや講演をお聞きして、何をすればいいのか、困ったときはどうすればよいのかが見えてきた。**

セミナーの内容がすばらしかった。

現場の空気を知れたから

【3-2】 満足の原因

満足

初めて知ることかたくさんありきてよかった

とてもわかりやすかった

家族と医療者両方の立場である守田先生のセミナーが、非常にわかりやすく役立ちそうである。

たくさんの気づきを得ました。

ブースで同じ病気の経験者の話を聞く事が出来参考になりました。

講演で分かりやすい会があったから

身近なテーマをわかりやすく知ることができました。

治療についての講演会。また今後意見交換の場がたくさんありました。

セミナーのお話はわかりやすかった。各々のブースに活気が感じられてよかった。

ブースエリアが広々として見やすかった。

ブースも充実していたし、いろいろな立場の方からのセミナーが聞いて良かった。

がん相談支援センターの活用に仕方、教えていただきました。利用したいと思います。

自分のがんと診断された時の事を思い出しました。自分の生活をはじめ、他の人の生活をしんげんに考えなければならぬと思った。

オンラインではなく直接参加で、参加者の熱気が感じられてよかったです。

【3-2】 満足の原因

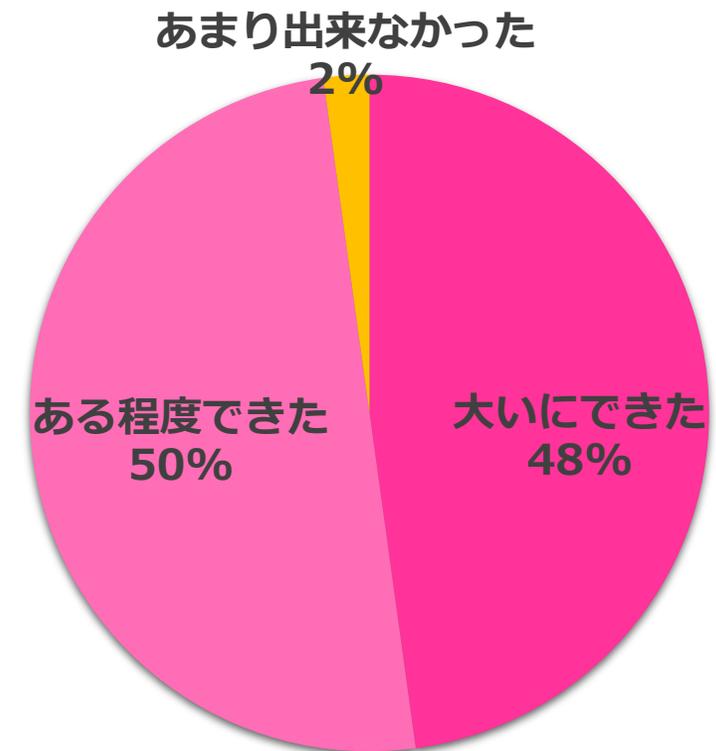
大いに不満

無入力。（次の質問「有益な情報を得られたか？」に対し「大いにできた」と回答しているのでネットでの誤入力かと思われます。

【4】ご自身にとって有益な情報を得ることができましたか？

N=93

有益な情報を得ることができましたか？	人数	%
大いにできた	44	48%
ある程度できた	46	50%
あまり出来なかった	2	2%

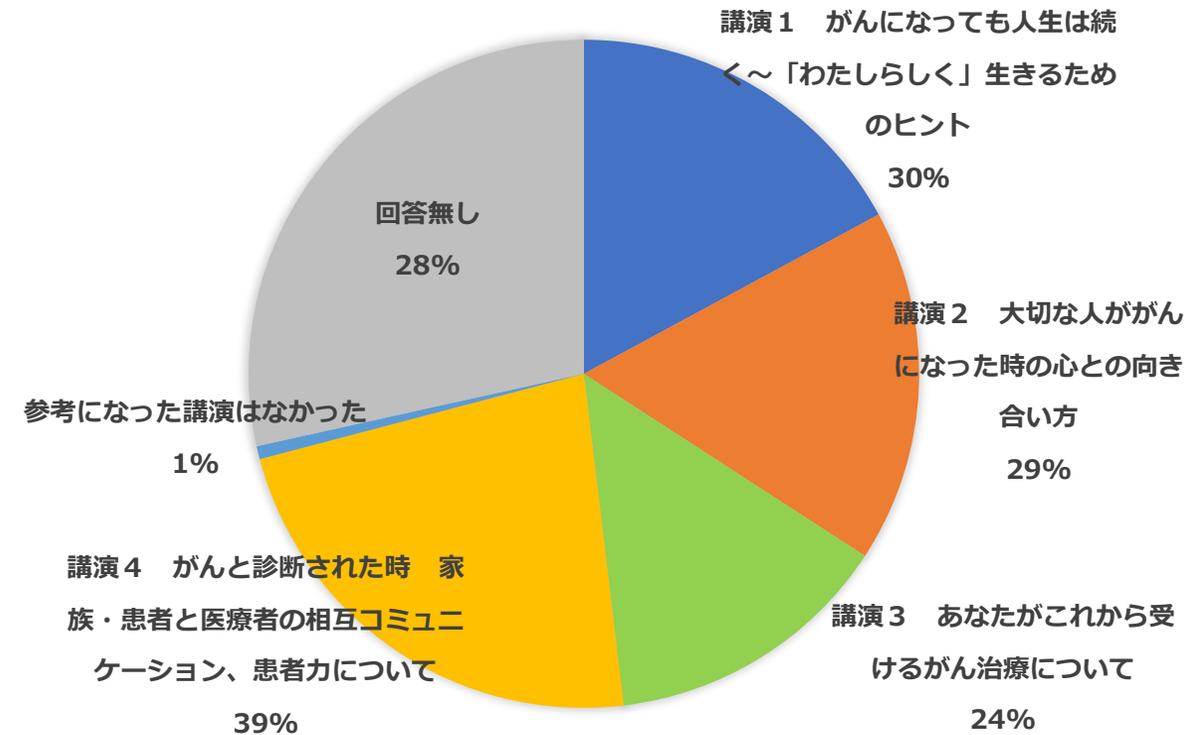


有益な情報提供ができ、前項の満足度に反映されたと思います。

【5】 参考になった講演がありましたらお教えてください *複数選択可。

参考になった講演	回答数	%
講演1 がんになっても人生は続く～「わたしらしく」生きるためのヒント	28	30%
講演2 大切な人ががんになった時の心との向き合い方	27	29%
講演3 あなたがこれから受けるがん治療について	22	24%
講演4 がんと診断された時 家族・患者と医療者の相互コミュニケーション、患者力について	36	39%
参考になった講演はなかった	1	1%
回答無し（紙での回答者）	45	48%

N=93



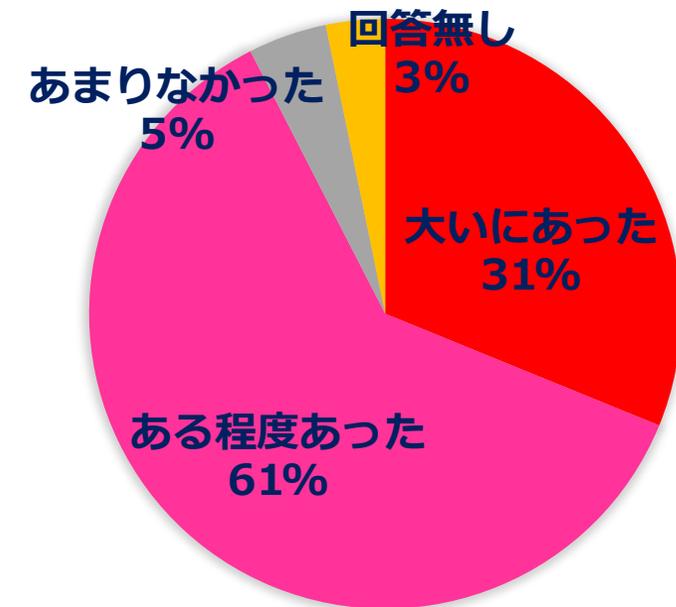
ほぼすべての講演が参考になったようです。

【6】気づきやお気持ちの変化はありましたか？

気づきやお気持ちの変化	回答数	%
大いにあった	29	31%
ある程度あった	57	61%
あまりなかった	4	5%
回答無し	3	3%

イベントに参加し、なんらかの気づきやお気持ちの変化があった方が9割で、「医療者との付き合い方の参考になった」「ウィッグを試着し怖くなくなった」「自分らしく生きるヒントが見つかった」などの声が聴かれました。

N=93



【6-2】（気づきや気持ちの）変化を具体的にお教えてください。

大いにあった

患者力のセミナーを聞いて、今後**主治医とのコミュニケーションの取り方を変えて、もう少し自分の治療について向き合うようにして行きたい**と思った。またさまざまなブースを回ることで、がん患者のサポートがいろんな団体によって行われているんだなと思い、今後**サポートする側にもなれたら良いな**と思った。

日々を生きる力を改めて得ることができた

守田先生の講演は医者も普通の人間なんだと気付かせてくれ、患者力の必要さがよく理解できた。最後には涙が出た。・アピアランスサポート東京のブースで**ウィッグの試着をして脱毛が怖くなくなった**。むしろ楽しみにすら思えた。ウィッグで仕事復帰する不安が無くなった。

改めて、**がんになってもやりたいことをやって、自分らしく生きていこう**と思いました。

患者さんは様々な情報を得るために会場に足を運んでくださっていると感じたので、にとって必要な情報をわかりやすく掲示し、その場で直接お話を聴きながら丁寧に説明することが非常に大切だと実感しました。

同じがん患者さんの意見・体験が聞けて良かった。

希望のようなものを感じることができた。

高橋先生のお話しに大変感銘受けました。

医療従事者とのつきあい方、医療者も自分事になると変化すること。

「患者力」を肺がんの義母に伝えたいです。87歳、がまん強すぎる母に。

思いきって参加してよかった。会と会場が非常に活気があった。

高橋都先生のがんのことのお話がとてもためになり、初心にかえることができました。

ガン患者さんがいっぱいいて、私もいつも通り毎日を過ごしたいです。

自分らしく生きるヒント、人とのかかわり方のヒントが見つかった。

先入観が解決した。

【6-3】（気づきや気持ちの）変化を具体的にお教えてください。

ある程度あった

N=93

情報が大事だと痛感

主治医との関係性を良いものにする為に、今日の公演に多くのヒントがありました

病院、医師との関わり方について参考になった。

ネイルをして頂き気持ちが明るくなれた。

リアルでお話を聞けることが一番の収穫です。

会場内がどこも活気があふれていて驚きました。

患者力について

毎日かかる高額医療費といつまで払えるか不安があるが、相談できる所があるのを知れた。

がん相談支援センター

患者間のコミュニケーションに参加したいと思った

がん患者になっても、守られるべき人になってはいけないと感じました。

「私らしさ」とは自分が楽であること、自然体でいられること、を教えられました。

自分らしく生きる力を作り、患者力をたかめることを目標にする。

自分自身がしっかりしないといけないと思いました。

前向きになりました。

あまりなかった

自分の症状に前向きな変化なかったです。

【7】今後取り上げて欲しいテーマ

治療情報

転移性のがんに関する情報(私は大腸がんの肝転移です)

最新のがん治療について

有用な検査について教えてほしい

セカンドオピニオンの仕方。どの時点か、先生の顔?! 不安だから…

障害者とがんについて

のみ薬の治療

治験、治療の情報

医学のトピック、最新治療etc

10年、15年後の晩期症状を助けてくれる医療機関のこと

腹膜がんなど希少ガンについても取り上げて欲しい。

ドラッグロス

各ガンの種類ごとにお話をしてほしい。

ピアサポートや体験談など

テーマではないですが、座談会など少し話し合いのスペースがあったらすごく嬉しいかもです。

高齢の親がガンになった子ども（40・50代ぐらいでしょうか）をみる気持ち、娘息子がガンになったときいた時の気持ちをきいてみたいです。

体験談も聞いてみたいです。

おひとり様のがんになった時。

こころのケア、気持ちの上げ方、ストレッチ運動について、食事について、患者の体験談

その他

治療費の負担軽減の方法があれば知りたい。

美しさは力。おしゃれウィッグで殻を破り新しい自分に出会う。

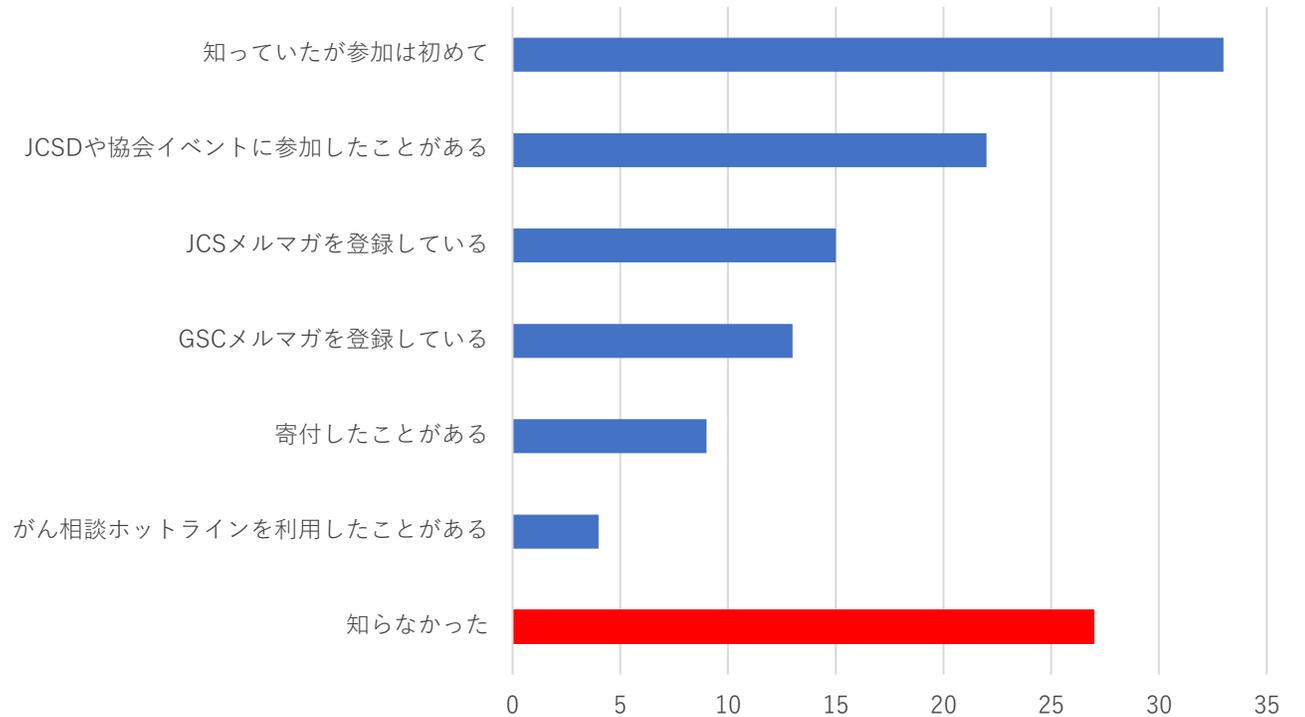
治療と仕事の両立。ピアサポートの有効性と今後の可能性

会社との交渉方法

心理学、精神医学でのがん患者のメンタルコントロールについて

【8】 日本対がん協会についてあてはまるものにチェックを入れてください *複数選択可。

日本対がん協会について	回答数
知っていたが参加は初めて	33
JCSDや協会イベントに参加したことがある	22
JCSメルマガを登録している	15
GSCメルマガを登録している	13
寄付したことがある	9
がん相談ホットラインを利用したことがある	4
知らなかった	27



今回は告知方法にSNSを多用したため、日本対がん協会を知らない人にも情報が届いたようです。一方で依然認知度は高くないことが読み取れるため、今後も対がん協会を知ってもらう方法や機会を考えていく必要があると感じました。

【9】その他、イベントに関してお気づきの点などありましたらご記入ください。

自由回答（良い点）

とても親切にお声掛けいただきありがとうございました。

運営は多大なご苦勞があると思いますが、これからもリアルな継続開催に期待します

ブースの所では女性の方がたくさんいらして付添で来ていた主人は居心地が悪かった様でした（笑）

参加者、出展者の方の笑顔がとてもすてきでした。

会場の**出入りが自由**なのは体調的に助かり、講演も**後日ネットで見られる**のも助かります。

出展者の方が「よろしく」とおっしゃるだけでなく、来場者に「今日は何で来たのですか」など、話のきっかけを投げかけてくださると良いと思います。

各ブースがどんな活動をしているかを、団体の名前だけでなく内容を来場した時に分かるように、パンフレットに記載があると、もっとまわりやすく、自分が行きたいブースに行けたと思いました。

初めての参加でしたが、**スタッフ・ブースの方々、とても親切**でした。

とても盛り上がっていたとおもう。

講演時間がちょうど良かったと思いました。

自由回答（改善希望点）

公演の話すスピードやスライドの切り替えが早く、メモを取っていると置いていかれる場面がありました。後日の録画配信で復習したいと思っています。

坂本はと恵さん、守田亮さん、いい話でしたが、**早口**で1つのセンテンスで長く、聞き取りづらかった。話し方で伝わり方がだいぶ違うと思う。ゆっくり話した方が説得力がある。

入り口が地味

セミナーの資料、欲しいです。

手軽に座れるイスがあると体力的に助かります。イスだけでいい。

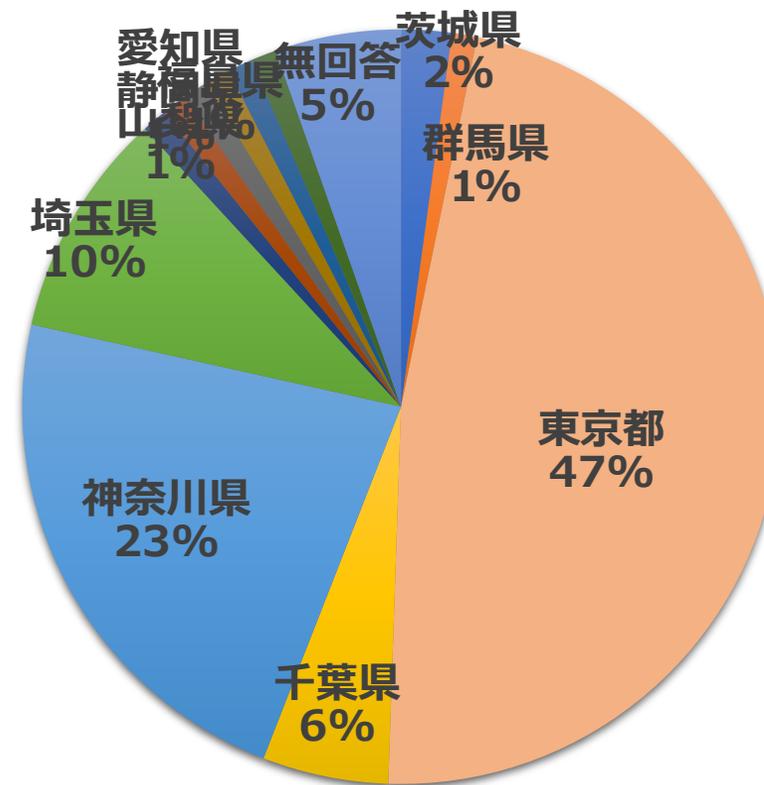
休憩所が昨年より狭くなっていてちょっと窮屈でした。メッセージツリーは、他の場所でもよかったかもしれないですね。

カメラマンが動きすぎ（講演中、気が散る）。スライドが見えない。

【11】お住まいの地域（都道府県）

N=93

都道府県	回答数
茨城県	2
群馬県	1
東京都	44
千葉県	5
神奈川県	21
埼玉県	9
山梨県	1
福島県	1
静岡県	1
愛知県	1
大阪府	1
福岡県	1
無回答	5



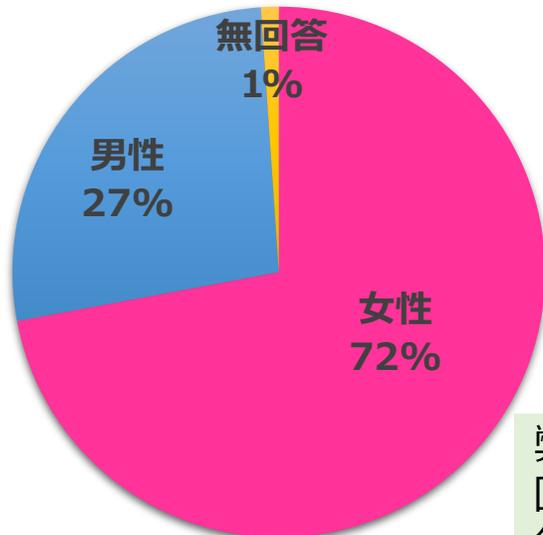
リアル開催ということで関東からの参加が9割でした。

【12&13】性別&年代

N=93

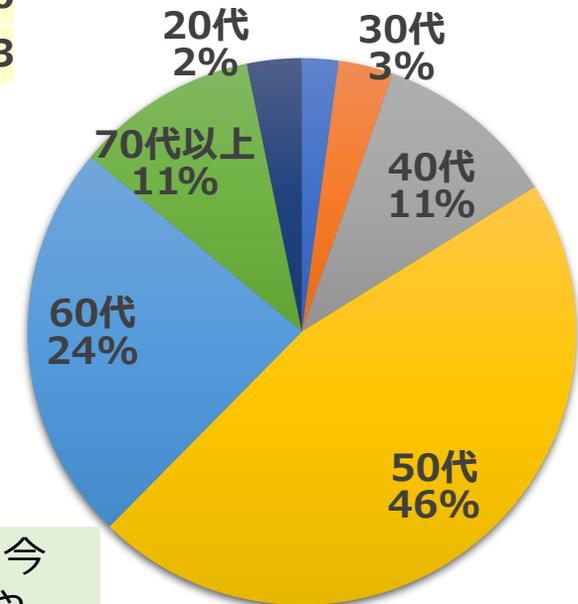
性別	回答数
男性	25
女性	67
無回答	1

性別



年代	回答数
20代	2
30代	3
40代	10
50代	43
60代	22
70代以上	10
無回答	3

年代



弊会のがん関連イベントは毎回40～60代の女性が多く、今回も似たような結果です。インターネットでの情報収集や、行動に移せる体力もある世代と思われます。

【14】全体感想（自由記載） 1

知り合いから教えてもらって、今回初めての参加でしたが、情報収集するのに有意義な一日になりました。運営の皆さまありがとうございました。

初めて参加しましたが、スタッフの皆さんのご尽力に感謝いたします

BNCTについて何か分かるかと思って参加しましたが今回は何も情報がなくその点は残念でした。また次に期待したいと思います。（その頃には適応になればBNCT治療が終わってるとは思います）

対面できるイベントはやっぱり楽しいです。企画から準備、運営など大変でしょうけど、有意義な時間を過ごせました。感謝しかありません。ありがとうございました。

妻に連れられ初めて参加しましたが、ブースめぐりも楽しみましたし、講演も勉強になりました。参加できてよかったです。ありがとうございました。

また、機会が合えば参加したいと思う。

レイアウト・車いす来場の方もいらっしゃいましたが、ゆったり通ることが出来て、ブース展示や廊下で長く滞在されている様子もあったかと思えます。・隣同士のブースが遠すぎず近すぎず、お互いにスペースを気にせず立ち寄られる方への対応ができました。参加者・講演による流れだと思えますが、来場者数の緩急が対応しやすさにもなっていました。関心のありそうな方には、個々にお声かけできたように思います。・ビニール手提げ？があったことで、パンフレットなども、受け取りやすかったのでは。他団体と・出展団体同士のつながりもあり、他団体の方から、来場者のニーズに合わせて紹介しあうようなこともありました。ご挨拶をしあえて、情報交換や、自団体がつながり活用できそうな情報にも出会えました。そのほか・利用してみたいけれど、少し背中を押してもらえるきっかけを求めている方もあり、このような直にふれあい距離を近づけていただく機会は、出展者・参加者共にありがたい場です。・東京アピアランスセンターさんのネイルのコーナー、にぎわっていたように思います。普段はわざわざ…と遠巻きになる、でも人とも触れ合えて気持ち少し上がる大切なブースになったのではないのでしょうか。・200部のパンフレットがほぼなくなる、多くの方に触れていただく機会になり、感謝ばかりでした。

今年も楽しかったです。ありがとうございました。

どうもありがとうございました。来年も楽しみにしています。

【14】全体感想（自由記載）2

今日は有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

ガンに直面すると命のことに真剣に向き合おうと思います。医療は生かすことを第一に進化していると思いますが、死はだれにでも必ずおとずれるもの。死をどのように迎えるかとても大切だと思います。哲学的かもしれませんが、今後必要なテーマかと思います。国がん中央病院で乳ガン手術、アピアランス支援センター野澤桂子さんとの出会い（ウィッグ）で救われNHKチヨイスにも出ました。「アピアランス」の重要性、患者としての経験を活かし、アピアランサーを特許出願しました。患者がおしゃれを楽しみ、自分らしく生きる。ウィッグを自ら被り希望になれたらと思っています。

守田先生の話、とてもおもしろくきかせていただきました。

明るいムードでよかった。

今年もありがとうございました。なつかしい方と「久しぶりー」との再会ができたこと。新しいであいがあったことも、このイベントのよさです。企画、準備、運営等お世話になりました。また次回も参加したいです。

リアル開催はちょっとした治療中のお楽しみの一つとなります。ありがとうございます。

入口にノボリを立てるなどもっと目立たせてほしい。（明るい雰囲気です）

本日はありがとうございました。

今後も機会があれば講演会や同様のイベントに参加したいと思いました。

自分らしく生きる。がんになってもならなくても、自分らしく生きる。大切ですね。有り難うございました。先日、RFLところざわに行つて来ました。

これまで弱音を吐きだすことができず、ひとりで悩みを抱えていました。たくさんのあたたかいお話をきけて、気持ちが軽くなりました。ありがとうございました。

【14】全体感想（自由記載）3

サポートといっても、いろいろな方法があることを知りました。サポートの輪が広がるために、私は何ができるのか、考える機会を与えていただきました。ありがとうございました。

ひとりで参加しましたが、気がねなく、スタッフの全員のあたたかな配慮を、お声をかけて頂き、楽しく参加できました。ありがとうございます。またこのような機会を楽しみに治療にはげみたいです。

今年1月に耳下腺がんと診断され、4月3日（水）に20万人に1人といわれる導管がん（耳下腺がん）と診断され、10時間以上の手術を受けました。ただ手術中、今も治療中などに行けるマギーズ東京が今日、ブースを出していた。個人的につながっている仲間の存在が、私の支える意味、働く意欲、原動力にもなりました。お陰様で今があります。このがんになって、最初は動揺しましたが、今、私らしい生き方をしている、いちばん理解のある会社で働けていて幸せです。

川口から来ましたが、地下鉄を乗り換えて、意外と来られました！

守田先生のお話はとても感動、納得できました。すべての医師がそうであってほしいです。

講演4。セカンドオピニオンについて、患者がうまく医師に対しコミュニケーションをとり、話をすすめるという内容だったが、患者にだけ負担を求めるのは違うのではないか。講演の趣旨は分かるが、「医師をうまく手玉に取って話をしていく」等、言葉の選び方に違和感を覚えた。

参加させて下さりありがとうございます。情報をまちがえないように消化します。

動画撮影で、おもいきり近くで撮られているのは気になりました。（全体的に撮っている分には構いませんが） 気になったブースをネット検索してみようと思います。役立つ、ためになる講演をありがとうございました。

講演3と4の時間が短すぎると思いました。もう少し長く講演時間をとってほしいと思います。守田Dr.のお話がとても参考になりました。ありがとうございました。

受付で書類を入れて渡して頂いた紺色の袋の音が少し気になりました。（講演中に袋をいじる方がいるとカサカサ音がする）

サマリー（まとめ）

7回目となる「JAPAN CANCER SURVIVORS DAY」は、“がんと診断されたばかりの方への最初の処方箋-わたしらしく生きるために-”をテーマに開催いたしました。

【1】

来場者数は376名と、今年も多くの方にご参加いただきました。

【2】

リアル開催により「直接講演が聴けた」「同じ病気の方とコミュニケーションが取れた」「ブースで試着ができた」「ネイルをしていただき気持ち明るくなれた」などの声をいただきました。

【3】

イベントに参加したことにより、「相談支援センターの利用方法がわかった」「前向きになれた」「自分も支える側になりたいと思った」など、気持ちの変化、行動変容のコメントをいただきました。

がんは近年、治療方法が進化し長く付き合える病気になってきています。しかし、それぞれの悩みや困りごとは異なります。一番、困っている人は誰だろう？と協会内で話し合い、がんと診断されたばかりの方、そのご家族だろうと思い、今年は「最初の処方箋」というテーマといたしました。参加者の方々からの感想に「大いに満足」「役に立った」「前を向けた」「がんになっても自分らしく生きていこうと思った」などのコメントをいただき、私たちも開催の甲斐があります。引き続き、ひとりでも、がんで悲しむ人、苦しむ人をなくすため尽力して参ります。

